

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日（木）に実施（質問紙は15日）した「令和6年度全国学力・学習状況調査」について、全国及び札幌市のまとめが公表され、本校でも9月に3年生に個人票を配付いたしました。その後、本校の結果分析と改善の方向性がまとまりましたのでお知らせいたします。今回の調査結果につきましては、学力の一部分であり、また、学校の教育活動の一側面に過ぎないことに留意しながらも、調査結果の分析から課題を明確にして、教科指導や特別活動などの指導に生かしてまいります。今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

◎下記の文章中に出てくる「上回っている」、「上回る」、「下回っている」、「下回る」という記述は、下記の基準にもとづいて表されています。

※「上回っている」は全国平均と比べて+3.1ポイント以上

※「ほぼ同程度であるが、やや上回る」は3.0ポイントの範囲内で全国平均を上回る

※「ほぼ同程度」は全国平均と同じ。

※「ほぼ同程度であるが、やや下回る」は3.0ポイントの範囲内で全国平均を下回る

※「下回っている」は全国平均と比べて-3.1ポイント以下

1.【本校の状況分析】

■ 学習意欲等 ■ ~児童生徒に対する質問紙調査結果から

◆全国平均を上回っている主な項目

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る主な項目

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

◆全国平均を下回っている主な項目

- ・1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

《 国 語 》

学習指導要領の領域

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

「情報の扱い方に関する事項」

「我が国の言語文化に関する事項」

「話すこと・聞くこと」

「書くこと」

「読むこと」

本校の概要

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」では全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均を下回っている。
- 「話すこと・聞くこと」では全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」では全国平均を上回っている。
- 「読むこと」では全国平均と同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- ★「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文の成分の順序や照応について理解すること。
- ★「我が国の言語文化に関する事項」において、行書の特徴を理解すること。
- ★「話すこと・聞くこと」において、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめること。

改善の方向

- ◎第2学年までに学習した文法事項の振り返りを行い、文の構成について理解を深める。
- ◎書き初め等の活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を学ぶ。
- ◎小グループの話し合い活動の中で、質問したり意見を述べる機会を増やし、自分の考えを深めるような指導の工夫に取り組む。

《 数 学 》

学習指導要領の領域

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」

本校の概要

- 「数と式」「図形」「関数」の領域で正答率は、全国平均をやや下回っている。
- 「データの活用」の領域で正答率は、全国平均を下回る。
- 「数と式」の「連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」では、全国平均を上回っている。
- 「データの活用」の「簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる」では、全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- ★「関数」
一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
- ★「データの活用」
同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現すること。

改善の方向

- ◎反復練習の徹底を継続的にを行い、基礎的な概念や原理・法則の理解を深めていく。
- ◎問題解決する過程を大切にし、その過程を振り返って考えを深めたりする場面を作ることで、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

3 今後に向けて

国語：今後も基礎・基本の定着を重視し、漢字や語句・文法など読解の基礎となる学習を繰り返し行いながら、様々な文章を読み解く学習に力を入れていきます。また、小グループでの話し合いや交流を適宜取り入れ、言葉のやりとりを通して理解を深められるよう工夫した授業を展開します。

数学：基礎・基本の定着を徹底することを第一優先とした授業づくりを目指していきます。また、なぜ間違えたのか、どこを間違えたのかを大切に、解決の過程や途中式から、それを発見できるような活動を多く設けていきます。

*札幌市の実施報告書は札幌市のホームページに載っています。